

巨大津波 避難方法は

釧路・大楽毛で訓練「カケアガレ！日本」



発行所
北海道新聞社
郵便番号 060-8711
札幌市中央区大通西3-6
電話 011(221)2111
©北海道新聞社 2014



インターネットで道新ニュース
www.hokkaido-np.co.jp

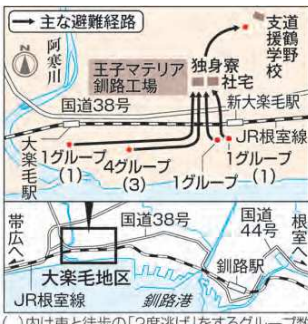
ご購入申し込みは
0120-464-104



JR根室線の踏切南側で車から降り、徒歩でさらに先の避難場所へ向かう訓練参加者
＝釧路市大楽毛地区

体験集会「むすび塾」も開催

巨大津波からの避難方法を探る訓練「カケアガレ！日本」が23日、釧路市大楽毛地区で道内で初めて行われた。北海道新聞と東北地方のブロック紙「河北新報」などが主催し、住民31人が参加。平たん地で高いビルも少ないという地域特性を踏まえ、車と徒歩を組み合わせた「2度逃げ」も採り入れ、想定避難時間約30分間でどこまで逃げられるかなどを実践的にチェックした。



大楽毛地区連合町内会と王子マテリア釧路工場が共催。道内太平洋沿岸に大津波警報が発表され、釧路市には30分後に10層の津波が来るとの想定で、参加者は7グループに分かれて津波避難ビルの指定されている同工場の社宅などを目指した。

大楽毛南地区は市が支道鶴野学校、支道鶴野社宅、新大楽毛駅、JR根室線、1グループ(1)、4グループ(3)、1グループ(1)、大楽毛駅、国道38号、国道44号、根室へ、大楽毛地区、釧路市、JR根室線、釧路港、()内は車と徒歩の「2度逃げ」をするグループ数

「避難困難地域」に指定し、車での避難を認めている。このため7グループのうち高齢者や要支援者の5グループは車でJR根室線の線路まで逃げ、さらに徒歩で工場まで北上。残り2グループは徒歩のみで、一部は同工場より約1.5km北の北海道鶴野支援学校付近を指した。



避難先の王子マテリア釧路工場の独身寮で、避難者名簿に名前などを書き入れる人たち＝同

JR踏切は列車の通過もなくスムーズに横断。国道38号では信号で1分前後待たされる場面もあったが、7グループのうち6グループは15〜20分前後で目標地点に到着。残り1グループは徒歩で鶴野支援学校付近を目指し、30分ぎりぎり到着した。参加者のうち7人は、訓練後に同工場内の王子クラブで開かれた津波防災ワークショップ(体験集会)「むすび塾」に参加。訓練で浮かび上がった課題などを話し合った。

「カケアガレ！日本」は河北新報、東北大などが津波避難訓練のプログラム開発のため2012年から東北各地で実施している。

避難訓練参加者ひと言



車から徒歩に切り替え王子マテリア独身寮まで避難した
南町内会
島谷まき子さん(64)

車いすを押しながら避難したが、時間内には到着できた。避難路は車の通行量も多く、未舗装や段差もあった。夏場なら何とか押していけるが、積雪があったり凍結した道では無理だと思う。



車から徒歩に切り替え王子マテリア社宅に避難した
第1町内会
堀 耕一さん(89)

家から300mに海があり、恐怖を感じながら避難してきた。踏切はスムーズに通れたが、国道38号の信号は停電した場合、車の通行が途絶えず横断歩道を渡れない。何らかの対策が必要だ。



車から徒歩に切り替え王子マテリア社宅に避難した
第1町内会
大村 洋子さん(73)

毎年訓練をするが、体力の衰えを感じる。10年ほど前に右膝の手術をして早く歩けない。夫も心臓が悪く、誰かが車で迎えに来てくれないと厳しい。踏切より南側に高い建物があればと感じる。



車から徒歩に切り替え王子マテリア社宅に避難した
第1町内会
谷地 邦夫さん(79)

右膝を痛めているので4階建ての社宅の屋上まで登るのがきつかった。自宅は海拔6mの地点にあるが、想定した10mの津波が来ればひとたまりもない。もっと近くに避難場所があると安心だ。



鶴野支援学校付近へ徒歩で避難した
南町内会
上川 隆夫さん(62)

町内会で支援学校まで来られる人は少ないだろう。60代なら大丈夫でも、7割を占める75歳以上の人は車いすか車に乗せなきゃならない。津波の時には国道が車で渡れなくなることも心配だ。



鶴野支援学校付近へ徒歩で避難した
光栄町内会
川本 恵子さん(60)

もし孫が遊びに来ていて、孫を抱えて歩いたり、一緒に避難したりするのを考えると大変だ。東日本大震災の時もどこに逃げようかと迷った。年配の人も鶴野支援学校への避難は難しい。

●王子マテリア独身寮

- 佐藤三喜雄さん (74)
- 釣部三重子さん
- 島谷まき子さん
- 清水利子さん
- 野村幸雄さん
- 野村千代子さん
- 野村隆夫さん
- 上川隆夫さん
- ▲後芳昭さん
- 鎌田富美さん
- 梅津靖男さん (81)
- 小池健作さん (73)
- 中田勲さん (67)

避難された方々

- 下元 義夫さん (63)
- 亀卦川正一さん (79)
- 工藤幸士さん (77)
- 森口重夫さん (85)
- 森口芳子さん (82)
- 富田 稔さん
- 渡辺 専吉さん (82)

●王子マテリア社宅

- 畑 稔さん (77)
- 谷地 邦夫さん (79)
- 大村 洋子さん (73)
- 堀 耕一さん (89)

●鶴野支援学校付近

- 服部 修久さん (76)
- 川本 恵子さん (60)
- 土岐 政人さん (63)
- 赤間 諭さん (38)
- 向後 芳昭さん (74)
- 野村 幸雄さん (63)
- 上川 隆夫さん (62)

二つの避難場所で名簿に記入した人は重複掲載することもあります。

このリストは、災害被災者の安否確認に役立つ避難者名簿のモデルです。災害時には避難所を運営する住民組織と新聞社の連携により、新聞の号外に名簿を掲載し、安否情報を発信することが可能になります。今回は大楽毛地区での「カケアガレ！日本」で避難先とした3カ所で、訓練参加者が記入した名簿を基に作成し、新聞掲載を希望された方のみ掲載しています。年齢の記入のない場合は空欄とし、判読不明な文字は▲で表記しました。

北海道新聞・道新スポーツ



(有)丹葉新聞店

丹葉新聞店公式ホームページ

<http://www.otappi.jp>

大楽毛店 ☎57-8228 〒084-0917 釧路市大楽毛 4-4-1
武佐店 ☎46-3224 〒085-0806 釧路市武佐 1-22-10

